

各位

上場会社名 株式会社 アイ・オー・データ機器
 代表者 代表取締役社長 細野 昭雄
 (コード番号 6916)
 問合せ先責任者 社長室室長 真田 秀樹
 (TEL 076-260-3377)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年6月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成20年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	△100	—	—	—
今回発表予想(B)	24,900	△390	—	—	—
増減額(B-A)	△3,100	△290	—	—	—
増減率(%)	△11.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年6月期第2四半期)	32,259	689	—	—	—

平成21年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	59,700	570	—	—	—
今回発表予想(B)	46,300	△600	—	—	—
増減額(B-A)	△13,400	△1,170	—	—	—
増減率(%)	△22.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年6月期)	62,968	2,093	—	—	—

平成21年6月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成20年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,900	△300	—	—	—
今回発表予想(B)	24,700	△650	—	—	—
増減額(B-A)	△3,200	△350	—	—	—
増減率(%)	△11.5	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年6月期第2四半期)	30,877	373	—	—	—

平成21年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	59,500	220	—	—	—
今回発表予想(B)	46,000	△950	—	—	—
増減額(B-A)	△13,500	△1,170	—	—	—
増減率(%)	△22.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年6月期)	61,476	1,560	—	—	—

修正の理由

(第2四半期累計期間)

当企業グループは、平成20年11月12日付公表の業績予想修正において、第2四半期累計期間および通期の業績予想については、世界的な景気悪化を背景にパソコン関連需要の低迷による影響から、第1四半期において売上高は減少するとともに、利益面においても原材料価格の急落にともなう一時的な在庫評価損の発生も重なり、損失を計上いたしました。しかしながら第2四半期以降の業績については、引き続き当初の予想を下回る厳しい経営環境が続くことを予想するものの、成長分野製品の集中拡販による売上高の増加と全社を挙げたコスト削減による利益改善を進めることにより、当初の業績予想に回復することを想定しておりました。

第2四半期に入り、10月から11月中旬までは予想通りに推移しておりましたが、例年年末商戦の開始時期にあたる11月下旬より、電機・電子業界全般に大幅な減産が発表されるなど想定を遥かに超える需要の急減速が生じております。このような状況の下、当社においても一般向け法人向けともに、また製品全般を通して売上高の減少が鮮明となり、第2四半期の売上高は前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。利益面につきましては、第1四半期にて損失をもたらし在庫の調整も済み、経費削減に努めた結果、採算性の改善は進んでいるものの、売上高の減少による影響を吸収することは困難な見通しにありますことから、売上高、営業利益について、前回公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。

(通期)

11月下旬以降の製品全般にかかる需要の急激な冷え込みの中、例年見られる年末商戦期の盛り上がりを欠く結果が予想されるものの、期初以降底堅く一定の需要は存在しております。通期の業績につきましては、当企業グループは、市況の悪化を乗り越えるべく一層の業務効率化や新市場における需要開拓に努めてまいりますが、上記の状況を勘案した結果、この厳しい市況は下期も継続することが予想されますことから、通期におきましても売上高は前回予想を大幅に下回る見込みであります。また利益面につきましても、この売上高の減少による影響を補うに至らない見通しにありますことから、通期の売上高、営業利益につきましても、前回公表いたしました業績予想を修正いたします。

なお、経常利益および純利益の予想値につきましては、直近変化の激しい為替や株式市況など、多分に不確実な要素の影響を受けま

すことから、現在精査中であり確定次第公表いたします。

以 上